

命の大切さを学ばせる体験活動

しゅうなん ゆの
周南市立湯野小学校

学校の概要

- ① 学校規模
- 学級数：7学級(内特別支援学級1学級)
 - 児童数：74人
 - 教職員数：11人
 - 活動の対象学年：全学年・74人
- ② 体験活動の観点などからみた学校環境
- 湯野温泉を校区にもち、山や川等の自然にも恵まれている。地域社会との連携も深まり、温かな眼差しに包まれた児童はのびやかに育っている。老人介護施設や老人病院が点在し、高齢者との交流も盛んである。
 - ほとんどの児童が隣接した幼稚園から入学し、異学年とのつながりを深める中、全校が大きなファミリーという思いがつくられている。
- ③ 連絡先
- 〒745-1132
周南市大字湯野3843番地
 - 電話：(0834)83-2025
FAX：(0834)83-2135
電子メール：yunosjm@shunan.ed.jp

体験活動の概要

- ① 活動のねらい
- 命の大切さを実感することを通して、自己肯定感をもち、よりよい生き方を実現しようとする意欲・態度の育成。
 - 他の教科等との関連や日常生活とのつながりを通しての「ひとりだち(自立)」。
 - コミュニケーション能力を高め、互いがかけがえのない一人であり、支え合って生きていること(共生)の実感。
- ② 活動内容と教育課程上の位置づけ
- 〈全校体制による活動から抜粋〉
- ふるさと探訪
(総合的な学習、生活5時間)
 - 三世代ふれあい活動
(生活、図工、総合的な学習2時間)
- 〈各学年の活動から抜粋〉
- 成長の記録作り(第2学年)
(生活17時間、道徳2時間)
 - 元気をお届けします(第3学年)
(総合的な学習36時間、国語6時間、音楽6時間、図工4時間、道徳3時間)

1 活動に関する学校の全体計画

(1) 活動のねらい

- ① 命の大切さを実感することを通して、かけがえのない存在である自分自身を肯定し、一人ひとりがよりよい生き方を実現しようとする意欲・態度を育む。
- ② 体験活動と他の教科等との関連を図ったり、日常生活とつなげたりすることにより、「ひとりだち(自立)」をめざす。
- ③ 体験活動の中で自分の思いを表現し合う場を設定してコミュニケーション力を高め、互いがかけがえのない一人であり、支え合って生きていること(共生)を実感させる。

(2) 全体の指導計画

① 主な活動と教育課程上の位置づけ

学年	体験活動	教育課程上の位置づけ
1	和牛農家の訪問、幼稚園との交流、サツマイモの栽培	生活、道徳、学活
2	成長の記録作り、幼稚園との交流、野菜の栽培	生活、道徳、学活
3	高齢者、障害者との交流	総合的な学習、道徳

4	飼育活動、幼稚園との交流、1/2成人式、環境緑化	総合的な学習、図工、学活、道徳、保健
5	飼育活動（メダカ）、竹炭作り、お仕事にチャレンジ	総合的な学習、学活、道徳
6	栽培活動（大豆）、お仕事にチャレンジ	総合的な学習、学活、道徳
全校	ハートフルコンサート、サン・サンロードクリーン作戦、三世代ふれあい活動、ふるさと探訪、お話の会、一人一鉢運動、全校道徳	国語、生活、図工、家庭、総合的な学習、特活、道徳

② 各活動の指導計画（例 第4学年 1／2成人式をしよう）

活動の名称	内 容（道徳はねらい）	教育課程上の位置づけ	単位時間数
いっしょに遊ぼう	飼育動物の話をして、園児と遊んだりする。	総合的な学習	10
大人に近づくからだ	男女の体の変化を理解する。	体育（保健）	4
おばあさんのおむかえ	家族の一員として役割を果たしていこうとする。	道徳	1
フィンガーボール	相手のことを思いやり、親切にする	道徳	1
ぎこぎこトントン	「湯野にあるといいもの、いるもの」をのこぎりや金づちをつかって木工制作する。	図工	6
アルバム	生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。	道徳	1
湯野にあるといいものを完成させよう	4年生、園児それぞれが作った物を持ち寄り、「ジェットコースターのある水族館」「夜の動物園」を制作する。	総合的な学習	6
こどものいのちを助けたい	生命の大切さを感じ取り、生命あるものを大切にする。	道徳	1
1／2成人式をしよう	自分の成長を喜び、将来の夢を語る式を行う。	総合的な学習	11

2 活動の実際

(1) 全校での活動例 ～ハートフルコンサート(ピアノ演奏会)～

① 事前指導

視覚障害者である今回の奏者は、山口県内だけでなくいろいろな場で演奏活動を続けておられ、たくさんの賞を頂いておら



れることを伝えました。全校で「新ちゃんがいない」のビデオ視聴もした。各学年に応じて新ちゃんが障害を克服しながら一生懸命に生きようとする姿や友だちのツヨシくんの温かい眼差しなどについて感想を書いたり話し合ったりした。

「新ちゃんがいない」を見て

24日(土)に「新ちゃんがいない」のビデオを見ました。
生まれつき足の不自由な新ちゃんは、歩行の訓練を受けるために、小学校入学と同時に「はまなす学園」で暮らし始めます。5年生になった新ちゃんは、もう自分の力で生活ができるだろうということで自宅に帰り「田上小学校」に転入し、幼なじみのツヨシ君と一緒に登校し始めました。嫌がらせにあいながらも、自分らしくがんばります。新ちゃんやツヨシ君のすばらしさが全校のみんなにも伝わりよりよく成長していくというお話です。
4年生は、新ちゃんではなく「ツヨシ君のすばらしさ」について感想を書きました。
・ツヨシ君は、新ちゃんが好きだからそばにいて困ったときに助ける。
・ツヨシ君は、新ちゃんががんばるから助ける。
・新ちゃんがトイレで困っていたら、そのことを先生に伝え、手すりや洋式の便器をつけてもらった。行動力がある。
・みんなからいやがらせを受けていた新ちゃんをかばっていた。
たくさんのすばらしさを見つけており、めあてに沿って一生懸命考えている姿、鉛筆を走らせている姿にとっても嬉しくなりました。ただ、気になったのが、ツヨシ君がすることに対して「～してあげている。」という書き方です。ツヨシ君は自分の意志で行動しているのだから、「～している。」と書いていこうと話しました。
動物たちや下の学年、学級の友達にもとても優しく接することができる4年生なので、さらに相手の立場に立って話したり書いたりしていけるように見守っていこうと思います。(担任も一緒に気をつけていきたいです。)

学年便りから抜粋

② 活動の展開

「エリーゼのために」など、児童がよく耳にする曲や口ずさめるものを中心に演奏されたこともあり、流れるような指運びや柔らかな響きに時間のたつのも忘れ聴き入った。演奏の途中に「毎日時間を決めて練習する。病気になるないように体を鍛えている。好きなことを集中的に練習することが大切。親がいなくなってもひとり立ちできるようにするためにしている。」など、お母さんから息子であ

る奏者への接し方や育て方についての話を伺うこともできた。

③ 事後指導

全校で感想を書き、道徳や学活で深めていった。どの学年も、「障害を感じさせない演奏に感激した」「元気な自分が怠けているので負けずに力をつけていきたい」「『以前よりさらに上手になっておられる』と先生が教えてくれた。目標をもって練習をしておられるからだろう。すごい。」などと、今の自分に置き換えて考えていた。学校生活の中で目標を見失いそうになったときなどに思い出して頑張る姿も見られる。



(2) 各学年での活動例 ～ 第1学年の活動 生活科「だいすきだよ」 ～

① 事前指導

学級の実態として、何事も自信がなく活動に手間取る児童が多いので、5月連休明けから「いえのおしごとをしよう」を休日の宿題にしてきた。本単元に入るに当たり、実施した「家の仕事調べ」の結果から、児童は家の仕事の多さや、そのほとんどを母親が担当していることなどに気付いた。そこで、小単元「めざせ！しごとめいじん だいさくせん」では、家族と相談して、ほぼ毎日できるものを自分の仕事に決めて取り組んでいくことにした。

家庭で行ったことを学校で検証しながら深めていくという学習なので、家庭との連携が不可欠である。活動の意義や声かけの仕方等を右のように学年便りで知らせた。

ななかよし 豊野小学校1年 学級通信 21号 H20.9.24

目指せ！仕事名人

…料理 (野菜などの材料きり)	…アイロンかけ
…洗濯物たたみ	…ちやわん洗い
…お風呂掃除	…ちやわん洗い

「目指せ！仕事名人」作業を開始してから約10日たちました。その後の子どもたちの様子はいかがでしたか？ 胸が広がってきているでしょうか？

名人というからには、ただその仕事をするだけでなく、大切なポイントやコツを見つけてほしいと思います。例えば、アイロンかけなら布にあった温度があることや、かける方向に気をつけないといけないこと、皿洗いや、油汚れなどはできるだけ流さず拭き取ってから洗うとよいことなどです。これらの仕事のコツは、まだまだ1年生の子どもたちは教えないと分かりません。ご家庭で実践されていることで構いませんので、しっかりと伝授をお願いします。

今週からいよいよ名人発表会に向けての準備に入ります。(10月17日に、幼稚園のお友達を招いての発表会を予定しています。)どのような手順でその仕事をしているか、大切なことは何かを伝えられるとよいと思います。発表会では仕事に使っている道具を準備して、実際にやってみせるようにしようと考えています。学校で準備できるものはしようと思いますが、ご家庭から持参するものが出てくるといいと思います。学校に持ってきても構わないものでしたら、子どもたちに持たせていただけると助かります。どうぞよろしくお願いします。

切り取り線

子どもたちの仕事ぶり (手順など) を教えていただけると助かります。短くても構いませんので一言お願いします。(26日まで)

② 活動の展開

○ 仕事がんばりカードの活用

仕事の様子や気付きを毎日記録して保護者にも一言記入してもらい、気持ちの交流を図る手段とした。

○ 「仕事名人発表会」リハーサル

2年生のアドバイスを受け、聞き手の立場に立って発言できるようになった。

○ 「仕事名人発表会」⇒園児を招待

各自の仕事ぶりを聞き手 (幼稚園児) にわかりやすく発表した後、技を伝授した。この活動で仕事名人として誇らしい気持ち (自尊感情や自己有用感) を膨らませるとともに、他の仕事にも意欲がわいてきた。

ななかよし 豊野小学校1年 学級通信 23号 H20.10.14

めざせ！仕事名人

～名人発表会を成功させよう！パート2～

17日の名人発表会に向けて、2年生を招いてリハーサルを行いました。発表の様子を2年生に見てもらい、上手にできているところ、直したほうがよいところなどの気づきをもらいました。「声がよく聞こえました。」「仕事が上手にできていました。」などのうれしい気づきをもらって、1年生も自信をつけたようです。発表の練習を始めたころには、「仕事をやってみせながら説明する」という、空想と器用するの同時作業がなかなかできずにいた1年生ですが、練習を重ねるうちに、ずいぶんと上手に話せるようになりました。本番でも練習どおりに話ができるようになりますが、子どもたちはきっと緊張することだと思います。思わぬハプニングがあるかもしれませんが、何事も経験、失敗を恐れずに挑戦してほしいと思っています。(2年生を前にした発表でも「きんちょうしたあ。」とのことでした。)

発表会は9時30分から予定していますので、よろしければぜひお越しください。

③ 事後指導

この学びを家庭生活にもどし継続できるよう、名人認定証や保護者からの手紙を活用して更なる意欲付けを図った。手紙の返事を書き、これからの仕事がんばりカードも自作し、一緒に手渡した。そこには、日頃伝えられない言葉や感謝の気持ちが満ち溢れていた。

3学期は、「たのしかったね 1ねんかん」と題して、できるようになったことがたくさんある自分を振り返り自信を深め、家族や新しく入ってくる1年生のために役立つとする気持ちを更に高めていきたい。



(3) 各学年での活動例 (幼小連携・異年齢交流を軸にした取り組みから)

～ 第4学年の活動 総合的な学習「1/2成人式をしよう」～

時期	児童の意識の流れ	各教科等との関連
4月	<p>〈自分に関する〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生今日から上学年だ。何が起るかなあ。 <p>〈生き物に関する〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育の仕事が始まる。一生懸命やろう。 ・えさを残しているけれど、どうしてだろう？ ・ふんの色が変だ。 	<p>総合 生き物を大切に育てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物の世話を手際よくする方法やめあてを決める。 ・湯野っ子集会や幼稚園で発表する。 ・ふれあいコーナーの計画を立て、昼休みに実施する。 ・動物のことで気付いたことをカードに記入する。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・えさにも好き嫌いがあるようだ。 ・アルファは朝いつもチャボけんかを売りに行く。 ・気づいたことを分かりやすく発表しよう。 ・何年生にでも分かるように工夫しよう。 	<p>道徳 ぼくの生まれた日ードラえもんー 家族愛 4-(2)</p> <p>ねらい 家族が自分のことをどれだけ大切にしているかを理解し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。</p>
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉がちよっと難しい勉強だね。 ・体の外側が少しずつ変わっていくんだね。 ・お母さんみたいな体になるんだ。 ・体の変化は、男女差、個人差、年齢差があるから、悩まなくてもいいんだ。 	<p>湯野っ子集会・ふれあいコーナー</p> <p>体育(保健) 大人に近づけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの頃からの成長について知る。 ・成長には食事、運動、休養が必要であることを理解する。 ・男女の体の変化について理解する。 ・心の変化を理解し、男女が互いに協力し合っていくことの大切さに気付く。
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・大人になる体を大切にしよう。 ・食事や運動、睡眠にも気をつけよう。 ・家の人もこんな時があったんだね。 	<p>道徳 おばあさんのおむかえ 家族愛 4-(3)</p> <p>ねらい 家庭がそれぞれの家族によって支えられていることを理解し、その一員として役割を果たしていこうとする態度を育てる。</p>
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園のブランコはあんなに小さかったかなあ。 ・砂遊びをよくやったね。 ・ピンクのドレスが青いものになっていったね。 	<p>総合 湯野飼育・環境係出陣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンサン花壇に花を植えよう。 ・今度は夏の花を植えよう。きれいだね。 ・社会や道徳で勉強したように湯野もきれいにしてよう。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の友達が「また来てね。」と言っていたよ。 	<p>道徳 富士山を教えー 田部井淳子ー 自然愛・動植物愛護 3-(1)</p> <p>ねらい 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切に育てる。</p>
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくたちや幼稚園の施設で変わったところを幼稚園の先生に聞いてみよう。 ・木工製作をいっしょにやろう。設計図のように作れるかなあ。 ・うまく作れるかな。友達のを参考にしよう。 	<p>総合 1/2成人式をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯野幼稚園児と遊ぶ。 ・湯野っ子集会で発表したものを見せる。 ・木工製作で「湯野にあったらいいもの」を作る。園児の作った物を元に設計図を考える。一緒に仕上げをする。 ・音楽祭で発表する曲を聴いてもらう。 ・園児の発表を見せてもらう。 ・誕生から4年生までの成長記録(心身両面から)を作成する。 ・招待する人を決め、招待状を作る。 ・自分の将来の夢を考え、発表する方法を考える。 ・学習発表会に招待する。(1年生と一緒に) ・1/2成人式の計画を立て、練習をする。 ・1/2成人式を行う。 ・お礼の手紙を書く。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の人は動物を作るのがうまいな。 	<p>道徳 アルバム 生命尊重 3-(2)</p> <p>ねらい 生きていることの大切さを知り、生命を大切にしようとする心情を育てる。</p>
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの頃から今までの成長を残そう。自分のよさができるといいな。アドバイスをもらおう。 	<p>道徳 子どもたちを助けたい 生命尊重 3-(2)</p> <p>ねらい 生命の大切さを感じ取り、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。</p>
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・夢はまだ決まってない。 ・ぼくは、野球の選手が夢だ。 ・私は看護師になりたいの。 ・たくさん式に来てほしいな。 	<p>道徳 前へ進もう 一車いすでサッカーかんたくを 目指すー 目標すー ねらい 自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げる。</p>
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方も招待しよう。 ・音楽や衣装を考えよう。 ・みんな喜んでくださったね。 	<p>学習発表会</p> <p>総合 生き物を大切に育てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生に仕事を引き継ぐ準備をする。 ・生き物の世話を通して分かったことを記録に残す。 ・3年生と一緒に動物の世話をする。 ・動物のえさになる野菜を育てる。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生になっても、このことを忘れないでいよう。 	<p>総合 生き物を大切に育てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物のえさになる野菜を育てる。

平成20年度 湯野幼稚園と小学校との交流計画			H20 5現在
月	学年	取組	備考
5-27	1・園児	生活「ようえんからごしようたい」	・幼稚園を訪ね、先生方に小学校の様子を報告する。(里帰り)
6	1・2長	生活「いもづるをうえよう」	・清水農園に1・2年生と年長児が芋づるを植えにい。縦割りファミリーで活動する。
6	1	生活「こうしをみにいこう」	・安達さん宅で牛を見る。
7	1・長	生活「こうしをみにいこう」	・一緒に牛を見る。
7	1・長	生活「こうしをみにいこう」	・牛の秘密の発表会をする。(幼稚園に出向く)
7	1・園児	園語「おきなななぶ」	・大きなななぶの劇を見せる。
9	全	秋季大運動会	・開会式、大玉送り、湯野小唄
10	1・2園児	生活「あきをたのしもう」	・さつまいもの収穫をする。
10	1・園児	生活「だいすきだよ」	・1年生が家庭で身に付けてきた仕事のこつ、内容、方法を「お仕事名人」として、園児に披露し、仕事を体験してもらう。
10	3～6園児	総合「音楽で心をなげよう」	・音楽祭で発表する曲を演奏する。
11音楽の日	1・2長	生活「あきをたのしもう」	・収穫したさつまいもを使って、サツマイモカレーやお菓子を作る。(音楽祭の日に行う)
7-11	4・園児	総合「10年式をしよ」	・園児と一緒に活動することを通して、幼稚園の頃の自分を振り返る材料とし、成長しているところはどこかに気づく、また、自分の家族からの愛情についても感じる。
11	1・2園児	生活「おせわになったかたにおれいしよう」	・清永さんや安達さんなどを招待し、感謝の気持ちを表す会を行う。(招待状を出す)
12	1・園児	園語「おもったことおわかりやすうかろう」	・幼稚園の友達と遊ぶ。幼稚園の先生に感謝を作文にあらわし、幼稚園の先生に読んでもらう。 ・3学期の自分たちの学習発表会への意欲をもつ。
1	1・園児	生活「がくしゅうはっぴょうかいにむけて」	・1年間の学習の成果をまとめ、家族や地域の方々に読んでもらうために練習する。
2	2・園児	園語「むかし話のおもしろさをあじわおう」	・昔懐かしい「かさじぞう」を気持ちや情景が表わされるように読む。または、生活の学習で自分たちが作ったおもちゃで遊んでも
2	1・園児	生活「あそぼう・かざろう」	・自分たちで作ったおもちゃを幼稚園の友達と一緒に楽しむ。園児と2年生との遊び方の違いについて気付くことができる。
2	1・長	一日入学	・新1年生と一緒に遊んだり、学校のことを
2	6・園児	家庭「素材を生かそう」	・学校園で栽培した野菜を使った試食会に招待する。
3	5・園児	園語「昔話を伝えよう」	・自分たちで調べた昔話を紙芝居で披露する。
3	1・長	生活「まってるよ」	・幼稚園の友達に小学校を案内する。一緒にゲームをしたり、給食を食べたりして楽しく過ごす。 ・卒園の記念に「アサガオの種」をプレゼントする。 ・新1年生のために、小学校ではどんなことがあるかを絵と文章にして紹介する。

① 事前指導

幼小連携や異年齢交流をそれ自体のもつ価値(成長と役割の自覚等)とともに、各体験活動をより効果的にする手立ての一つとしてもとらえ、左の計画を立てて取り組んだ。

本校では、一年間をひとまとまりの学習として各活動を絡ませながら進めている。本単元の前には、学校医や助産師を招いて授業を行い、幼児期とは違う自分の体や心、だれもが新しい命を生み出す大切な体であることを学び自己有用感を育んだ。活動前に、「今の自分と園児だったころの違いや園児のすばらしいところを見つけて来る」等のめあてをもたせ焦点化した。

② 活動の展開

前頁「いのちの授業関連図」にもあるように本単元を諸活動の核に据え、

学習を進めた。園児の作品を生かして一緒に新たな作品を仕上げている中、幼小教職員間の連携行動が園児や児童の温かな眼差しや笑顔となり子どもたちの成長につながった。

③ 事後指導

振り返りの場を設定して次の活動への課題を見つけ意識化を図った。また、1年生と一緒に本校学習発表会への招待状を作成して幼稚園に届けるなど、かかわりを深めている。

3 体験活動の実施体制

① 学校支援委員会

ふるさとを練習場とした体験活動の効果을挙げ、日常生活や地域で生かすよう協議することにより、地域の方の参画推進と連携強化を図る。構成員は、コミュニティ・自治会連合会・老人クラブ・民生委員会・社会福祉協議会・交通安全協会湯野支部・公民館の各長と学校評議員、校長、教頭、教務・研修・生徒指導主任である。

② 配慮事項等

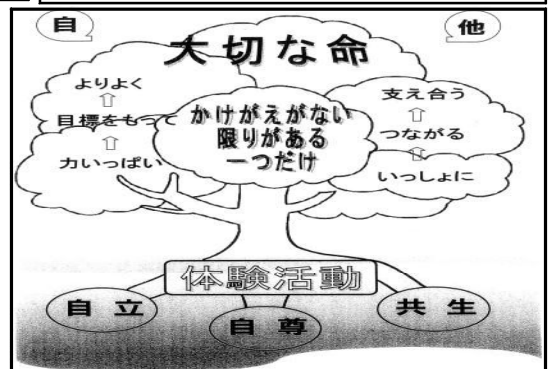
- 生き物とふれあった後には、手洗いやうがいを行わせる。
- 校外活動が主となるときは、見守り隊に依頼し安全確保に努める。
- 家族の手紙や写真を生かす活動では、各家庭個別の配慮を行う。

4 体験活動の評価の工夫と指導の改善

① 命の大切さのとらえ方

命をいくつかのカテゴリーに分類してとらえ、右のイメージ図として整理した。そして体験活動の中で、あるいは体験活動を生かしながら、学年や活動に応じて焦点化した命観を育てていくよう全教職員で共通理解したことで評価の視点が明確になってきた。

② 振り返りの場の確保と子どもの変容の見取り



具体的な子どもの姿の一覧表を参考に各学年で設定した児童像に照らし合わせながら行動や記述物を見たり、保護者と連携しながら児童の様子を聞き取ったりという方法で日頃から成長の様子を見取り書き留めていくよう努めている。また、アンケートも実施し指導の改善に生かしている。

学年便りから抜粋

③ 道徳の時間等での補充・深化・統合

体験から得られた価値を道徳の時間等に取り上げ、再度向き合うことで活動の価値を高め、各活動に関連性をもたせて生かし高め合うよう改善している。

5 活動の成果と課題

① 進む活動の体系化と「知」の総合化

児童の発達段階を踏まえて、命のどの側面に視点をあてた学習を仕組んでいくのかを明確にして単元構想「命の授業関連図」を練っていくことにより、様々な教育活動を関連付けて生かしていこうとする教師の構えができた。積み上げられてきた活動が学校全体の見通しの中で体系的なまとまりのあるものとなり、「知」の総合化につながっている。

② 連携の拡充推進

○ 学年間の実践に系統性をもたせ、学びが上の学

年につながっていくよう校内連携が強化された。2年生と4年生の性教育では、両担任だけでなく、研修主任、養護教諭、ゲストティーチャーの助産師も加わって指導案を検討し、「自己肯定感」を育むとともに「命の自己責任」についても価値を深めていくことができた。

○ 前述の幼稚園を始め、家庭や地域社会など、校外との連携も深まっている。昨年度の課題であった「ふるさとへの愛着を生むよう、湯野の自然を生かした体験活動の開発」がなされ、「ふるさと探訪」として湯野の子どもの安全を見守る会の協力の下で実施した。

③ よりよく生きようとする児童の姿

○ 伝統となった活動を通して子どもたちのつながりが強まっている。飼育活動を行ってきた毎年の4年生は、「かけがえのない命」を軸としてつながっている。ウサギの突然の死で4年生が作る墓の前に自発的に集まった5、6年生の姿。かつて4年生の時に飼育を通して心の中に共通の思いが育っているのを実感した姿であった。

○ 異年齢とのかかわりの中で、うまくいかないところを手伝ったり、相手の思いを尊重しながらアイデアを出したりする姿によりよく生きようとする心を感じる。

○ 学びあう姿・遊ぶ姿・働く姿等の中に仲間への温かい思いの伝わる言動や、登校後すぐ飼育小屋に向かい生き物を愛おしむ姿などが日々見られている。

④ 評価の累積と更なる連携

○ 子どもを見取る具体的な姿の一覧表を命観と照応させて整理し、目指す姿を更に明確にしたい。それは、教師が子どもの変容を見取る力を高めるだけではなく、子ども自身が自己の成長を実感しよりよく生きようとする姿勢を育む契機になると考える。

○ 6年間の学びで育まれたよりよく生きようとする姿が、一人ひとりの夢の実現に向けて卒業後も継続されるよう、中学校との連携を強化していきたい。

ありがとう。チャッピー！

20日（金）ウサギのチャッピーが小屋の中で冷たくなっていました。
「今週に入ってあんまりえさを食べなくなっていたの。」
「4月ごろ、おしりから血みたいのが出ていたよね。」
「今週は雨が多くて、濡れたのがいけなかったのかな。」
「最近、ちょっと元気がなかったよね。」
子どもたちも私たち教職員もショックで、たくさんの思い出や後悔が心の中に浮かんで消えていきました。
ほとんどの子どもたちが、物心ついてから初めて「死」というものに会ったようで「これからどうしたらいいのだろう。」「何かもってあげていけばよかったのに。」涙が出て仕方ないという状態でした。また、愛情を込めてお世話していたからこそ、「生」への感謝があふれ出ているのでも感じました。「チャッピーの姿はなくなってしまったけれど、湯野小みんなの心の中にはいつまでも生きているよ。そして、湯野小に元気をくれたチャッピーに感謝しよう。あつちの世界でも、楽しく過ごせるように、みんなも負けずにいろいろなことに挑戦しよう。」
と担任が話し、みんなはこれまでのお礼や今考えていることを手紙にしました。子どもたちは、チャッピーが寂しくないように、あつちでもびよんびよん動けるようにと、お墓の前で「うさぎのダンス」を歌ったり、お花をあげに行ったりするようです。「一つの命」からもらった温かさ、満足感が、きっとこれからの子どもたちの成長に役立っていくのではないかなと感じた1日でした。

